

Ⅰ学期の漢字

たしかめ Ⅰ

5	4	3	2	1
建	席	飛	達	信
駅前に建築 <sup>ちく</sup> 会社が建てたビル。	席順を相談して決める。	空を飛び、渡り <sup>わた</sup> 鳥が飛来する。	練習を続けて上達した。	青の信号は進めの合図。

たしかめ Ⅱ

10	9	8	7	6
類	法	例	標	菜
魚類から両生類に進化した。	ニュートンの万有引力の法則 <sup>そく</sup> 。	「例えば」と、身近な例で説明する。	目標に向かって努力する。	菜園に菜の花が咲 <sup>さ</sup> いていた。

たしかめ Ⅲ

15	14	13	12	11
順	司	典	械	機
出席番号順に並 <sup>なら</sup> ぶ。	会議の司会と記録係を決める。	春祭りの祭典が行われた。	大型 <sup>がた</sup> の機械を使い農作業。	新しい機種ของเกม機を買う。

たしかめ Ⅳ

20	19	18	17	16
印	訓	成	辞	録
認 <sup>み</sup> めの印の印を押 <sup>お</sup> す。	音読みと訓読み、両方読む訓練。	漢字の成り立ちを知る。	言葉の意味を辞典で調べる。	テレビ番組を録画する。

## たしかめ 1

1	あおの しんごうは すすめの あいず。
2	れんしゅうを 続けて じょうたつした。
3	そらをとび、渡りどりが ひらいする。
4	せき順を そうだんして きめる。
5	えきまえに けん築がいしゃが たてた ビル。

## たしかめ 2

6	さいえんに なのはなが 咲いていた。
7	もくひょうに むかって 努力よくする。
8	「たとえば」と、みぢかな れいで 説明いする。
9	ニュートンの ばんゆういんりよくの ほう則。
10	ぎよるいから りょうせいいるいに しんかした。

## たしかめ 3

11	あたらしい き種の ゲームきを かう。
12	おお型の きかいをつかい のうさぎよう。
13	はるまつりの さいてんが おこなわれた。
14	かい議の しかいと き録がかりを きめる。
15	しゅつせきばんごうじゆんに 並ぶ。

## たしかめ 4

16	テレビばんぐみを ろくがする。
17	ことばの いみを じてんで しらべる。
18	かんじの なりたちを しる。
19	おんよみとくんよみ、りょうほう よむ くんれん。
20	認め の しるしの いんを 押す。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
初	城	昨	愛	静
水泳の初級コースを初めて受けた。	湖に浮かぶ城といわれた彦根城。	昨夜から雪が降り続き、今朝は真つ白。	深い愛情で子どもを育てる。	静物画、心静かに眺めます。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
的	要	必	群	景
放った矢が遠くの的に的中した。	君は、チームの要として必要な選手だ。	池に落ち必死に泳いで助かった。	砂糖に群がる蟻の大群。	景気よく花火が上がり、美しい景色。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
奈	埼	栃	茨	府
奈良の都は京の都より古い。	東京のベッドタウン、埼玉県。	栃木県の隣は群馬県。	とげのある木を茨という。	大阪府・京都府、どちらも近畿地方。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
量	梨	井	富	潟
雨量計で降る雨の量を量る。	梨は秋の果物だ。	福井県は、恐竜の化石で有名だ。	豊富な石油資源で富を築く。	新潟県、おいしいお米のコシヒカリ。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
すいえいのしよきゅうコースを はじめて うけた。	みずうみに 浮かぶ しろと いわれた 彦ねじよう。	さくやから ゆきが 降り 続き、けさは まっしろ。	ふかい あい情で こどもを そだてる。	せいぶつが、こころしずかに 眺めます。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
はなった やが とおくの まとに てきちゆうした。	きみは、チームの かなめ として ひつような 選しゆだ。	いけに おち、ひっしに およいで たすかった。	砂糖に むらがる 蟻の たいぐん。	けいきよく はなびが あがり、うつくしい けしき。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
な良の みやこは きようの みやこより ふるい。	とうきようの ベッドタウン、さいたまけん。	とちぎけんの 隣は ぐんまけん。	とげの ある きを いばら という。	おお阪ふ・きようとふ、どちらも きん畿ちほう。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
うりようけいで 降る あめの りようを はかる。	なしは あきの 果ものだ。	ふくいけんは、恐竜の かせきで ゆうめいだ。	豊ふな せきゆ資源で とみを 築く。	にいがたけん、おいしい おこめの コシヒカリ。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
案	伝	岡	阜	岐
新しい料理を考案する。	昔から伝わる伝統行事の祭り。	静岡県はお茶で有名。	岐阜県は日本のほぼ中央にある。	米原駅は北陸線との分岐点。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
旗	観	選	試	説
万国旗、日本の旗は日の丸だ。	観光バスに乗って旅行する。	リレーの選手に選ばれた。	実力を試してみるのが試験です。	よく分かるように説明した。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
季	以	関	材	利
春夏秋冬、日本の四季は美しい。	駅まで五分以内で行ける。	その子とは関係ないけど関わった。	ケーキを作る材料を用意する。	谷川の流れを利用し、水車を回す。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
給	争	戦	郡	節
今日の給食は何だろう。	一着を争い、チームで競争。	戦争は、国と国との戦いだ。	町や村が集まって郡になる。	イスの高さを調節する。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
あたらしい料 <sup>りよう</sup> りをこうあんする。	むかしから つたわる でん統 <sup>とう</sup> ぎようじのまつり。	しずおかけんはおちやでゆうめい。	ぎふけんはにほんのほぼちゅうおうにある。	まいばらえきはほく陸 <sup>りく</sup> せんとのぶんきてん。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
ばんこくき、にほんのはたはひのまるだ。	かんこうバスにのってりようする。	リレーのせんしゆにえらばれた。	じつりよくをためしてみるのがし験 <sup>けん</sup> です。	よくわかるようにせつめいした。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
しゅんかしゅうとう、にほんのしきはうつくしい。	えきまでごふんいないでいける。	そのことはかんけいないけどかかった。	ケーキをつくるざい料 <sup>ざいりょう</sup> をよういする。	たにがわのながれをりようし、すいしやをまわす。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
きようのきゅうしよくはなんだろう。	いっちやくをあらそい、チー <sup>チー</sup> ムで競 <sup>けい</sup> そう。	せんそうは、くにとくにとのたたかいだ。	まちやむらがあつまつてぐんになる。	イスのたかさをちようせつする。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
軍	泣	帯	包	飯
軍手をはめて花壇 <small>だん</small> の花植え。	号泣する選手を見てもらい泣き。	赤みを帯びた土ばかりの砂漠地帯。	プレゼントを包む包装紙。	昼飯は、ご飯を握 <small>にぎ</small> った握 <small>にぎ</small> り飯。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
康	健	輪	隊	兵
健康で安全が一番の幸せ。	健やかな育ちを見守る保健師さん。	輪が五つ、五輪のマークはオリンピック。	鼓笛隊が隊列を組んで行進する。	戦争でたくさんの兵士が死んだ。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
児	貨	祝	氏	夫
児童会で遊びの約束を決める。	荷物を積んだ貨物列車が通り過ぎた。	祝日は、国で決めたお祝いの日。	持ち物には必ず自分の氏名を書く。	夫も科学者のキュリー夫人。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
競	徒	良	官	器
速さを競う百メートル競走。	駅から徒歩で高校に通う生徒たち。	良いことをしようとする心が良心。	大腸は消化器官の一つです。	食器棚からガラスの器を取り出す。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
ぐんてをはめてか壇 <small>だん</small> のはなうえ。	こうきゆうするせんしゆをみていてもらいなき。	あかみをおびた つちばかりの砂漠 <small>さばく</small> ちたい。	プレゼントをつつむほう装 <small>そう</small> し。	ひるめしは、ごはんを握 <small>にぎ</small> った 握 <small>にぎ</small> りめし。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
けんこうで あんぜんがいちばんのしあわせ。	すこやかなそだちをみまもる 保 <small>ほ</small> けん師 <small>し</small> さん。	わがいつつ、ごりんのマークはオリンピック。	鼓 <small>こ</small> できたいがたいれつをくんでこうしんする。	せんそうでたくさんのへい士 <small>し</small> がしんだ。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
じどうかいで あそびの約束 <small>やくそく</small> をきめる。	にもつを積 <small>つ</small> んだかもつれっしゃがとおり過 <small>す</small> ぎた。	しゆくじつは、くにできめたおいわいのひ。	もちものにはかならずじぶんのしめいをかく。	おっともかがくしゃのキューリーふじん。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
はやさをきそう ひやくメートルきようそう。	えきからとほでこうこうにかようせいとたち。	よいことをしようとするころがりようしん。	だい腸 <small>ちよう</small> はしょうかきかんのひとつです。	しよつき棚 <small>だな</small> からガラスのうつわをとりだす。



85	84	83	82	81
清	付	約	梅	芽
清流で体を清めて修行する。	雑誌の付録に付いていたおもちゃ。	友達と帰って遊ぶ約束をした。	梅林に咲く梅の花、いい香り。	種から芽が出ること発芽という。

90	89	88	87	86
媛	香	徳	阪	滋
愛媛県は気候が穏やか。	いい香りのする香水。	道徳は、心の勉強をする時間。	大阪名物のたこ焼き。	お寺の数が日本一多い滋賀県。

95	94	93	92	91
鹿	熊	崎	賀	佐
鹿の頭には立派な角がある。	山中に熊がいて悲鳴を上げた。	山崎さん、岩崎さん、川崎さん。	開校百周年を祝う祝賀会。	有田焼で有名な佐賀県。

100	99	98	97	96
栄	働	熱	縄	沖
昔は市場で栄えていた町。	労働者とは、働く人のことだ。	熱湯を注いで、熱いお茶を飲む。	沖縄県で縄文時代の土器発見。	海の沖の方に船が見える。

## たしかめ

17

85	84	83	82	81
せいりゆうでからだをきよめて修 <small>しゆ</small> ぎようする。	雑誌 <small>ざっし</small> のふろくについていたおもちゃ。	ともだちとかえってあそぶやく束 <small>そく</small> をした。	ばいりに咲 <small>さ</small> くうめのはな、いい香 <small>か</small> り。	種 <small>たね</small> からめがでることをはつがという。

## たしかめ

18

90	89	88	87	86
えひめけんはき候 <small>こう</small> が穩 <small>おだ</small> やか。	いいかおりのするこうすい。	どうとくは、こころのべんきようをするじかん。	おおさかめいぶつのだこ焼 <small>や</small> き。	おてらのかずがにほんいち おおいし賀 <small>が</small> けん。

## 習たしかめ

19

95	94	93	92	91
しかのあたまにはりつ派 <small>は</small> なつがある。	さんちゆうにくまがいてひめいをあげた。	やまざきさん、いわさきさん、かわさきさん。	かいこう ひやく周 <small>しゅう</small> ねんをいわうしゆくがかい。	ありた焼 <small>やき</small> でゆうめいなさ賀 <small>が</small> けん。

## たしかめ

20

100	99	98	97	96
むかしはいちばでさかえていたまち。	労 <small>ろう</small> どうしゃとは、はたらくひとのことだ。	ねつとうをそそいで、あついおちやをのむ。	おきなわけんでじょうもんじだいのどきはつけん。	うみのおきのほうにふねがみえる。

102	101
満	養
月が満ち、今夜は満月、十五夜だ。	栄養をしっかりと摂 <sup>と</sup> って、体力を養 <sup>う</sup> う。

102	101
つきがみち、こんやはまんげつ、じゅうごやだ。	えいようをしっかりと撰 <sup>と</sup> って、たいりよくを やしなう。